

第24回栃木県障害者技能競技大会

ビルクリーニング 競技課題

◎ 一般的な注意事項

【共通事項】

課題の時間が定められております。

- (1) 課題： 10分で打ち切り
- (2) 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- (3) 競技は、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間、作業準備の5面から審査します。
- (4) 作業に適した服装をして下さい。
- (5) 作業開始の指示は、競技委員が行います。「始めます」「終わりました」の申告は、競技者自身で行うこと。
- (6) 各作業は、使用した資機材を手入れした後、指定された場所へ片づけて完了とします。

◎ 課題：弾性床清掃及び机上清掃

- (1) 作業面は、16㎡（4m×4m）の広さです。
- (2) 床面の掃き・拭き作業及びゴミ処理・机拭きの作業です。
- (3) 作業に使用する資機材・消耗品は、作業用カート（台車）に乗せてある物を点検してください。
- (4) モップの柄は、長さが調整できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調整してください。
- (5) ダスタークロスは、競技者が作業前に取り付けて点検してください。
- (6) 床のゴミは、「おがくず」とし50ml程度をまいたものとします。
- (7) 幅木の上には、壁があるものとして作業を行ってください。
- (8) 作業場所にある机は、移動させないでください。
- (9) 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

【資機材一覧】

1. 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着（上・下）		1着	
作業帽又はバイザー		1個	
作業靴		1足	ヒールマークが付着しないもの
タオル	無地・白色・木綿製	2枚	

注意) 持参するものは上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

2. 競技会場に準備されているもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1	
作業標示板		1	
モップ柄	ワンタッチアルミハンドル	1	
モップ房糸	260g	1	
小型ぼうき	30cm幅用	1	
乾式モップヘッド	63cm	1	
文化ちり取り		1	
ダスタークロス	69cm幅用の不織布	1	
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1	
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1 無地 から拭き用 (白色) 1	2	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1	
イス	パイプ式折りたたみ	1	
ゴミ箱	角型	1	

課題：弾性床清掃及び机上清掃（作業時間：10分）

作業仕様（1）

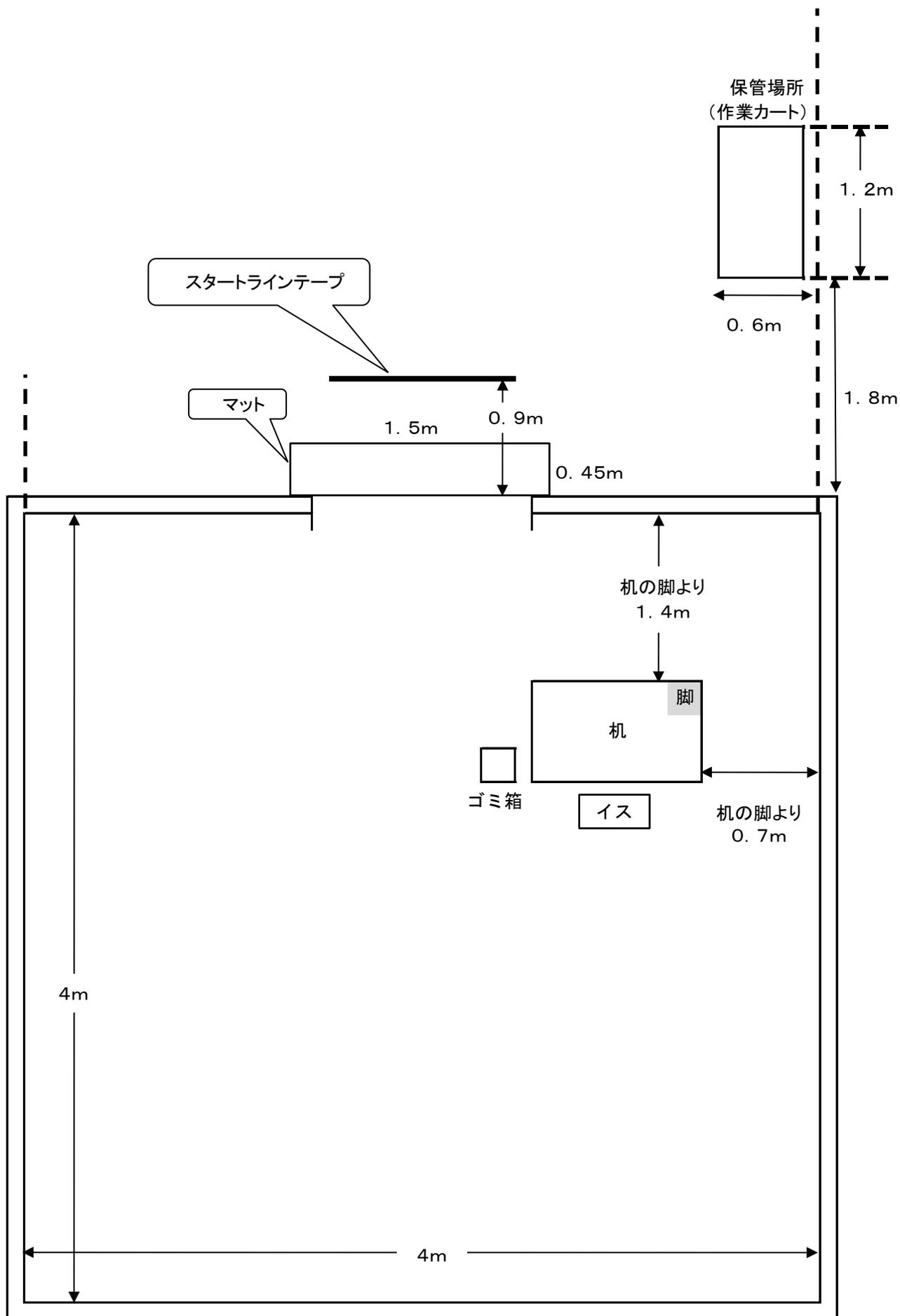
作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・作業に必要な資機材（タオルモップ等）は、すでに作業カート（以下カート）上部に準備されている。 ①ワンタッチモップ柄（以下柄）の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッド（以下ヘッド）に装着し、カート上部に置く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 ・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	カートを保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業標示板を立てる。		
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
イス上げとゴミ処理 (1) イスを上げる (2) ゴミの回収 (3) ゴミ袋のセット	<ul style="list-style-type: none"> ①作業前にイスを机上に上げる。 ②ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。 ③回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。 ④ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机上に上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机は動かさない。 ・イスは机からはみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋を正しくセットする。 ・ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。 	

作業工程	作業方法	補足事項	備考
除塵作業 (乾式モップ)	①ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは入口の養生マットの上でモップの柄に取り付ける。 ②乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。 ③室内での作業手順は、乾式モップ作業手順のとおり行う。 ④ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所を集める。 ⑤ヘッドを柄から外す。 ⑥使用済みのダスタークロスはヘッドから外し、カートの袋の中に収納する。 ⑦柄とヘッドをカートに戻す。 ⑧小型ぼうきと文化ちり取りを使用し、集めたゴミを回収する。 ⑨ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑩小型ぼうき、文化ちり取りをカートに戻す。	<ul style="list-style-type: none"> ・柄の先端には親指を添える。 ・ヘッドの辺は広い方を先行させる。 ・入口のゴミを踏まないように足場を確保する。 ・ヘッドは床から離さない。 ・使用済みダスタークロスはカートの袋の中に入れる。 ・ゴミの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちり取りを使用し回収する。 ・ヘッドは、カート上部にスポンジ面を上にして邪魔にならないように置く。 	ゴミは、おがくずを50ml程度均等にまいてある。 点検の際に声を出さないこと。

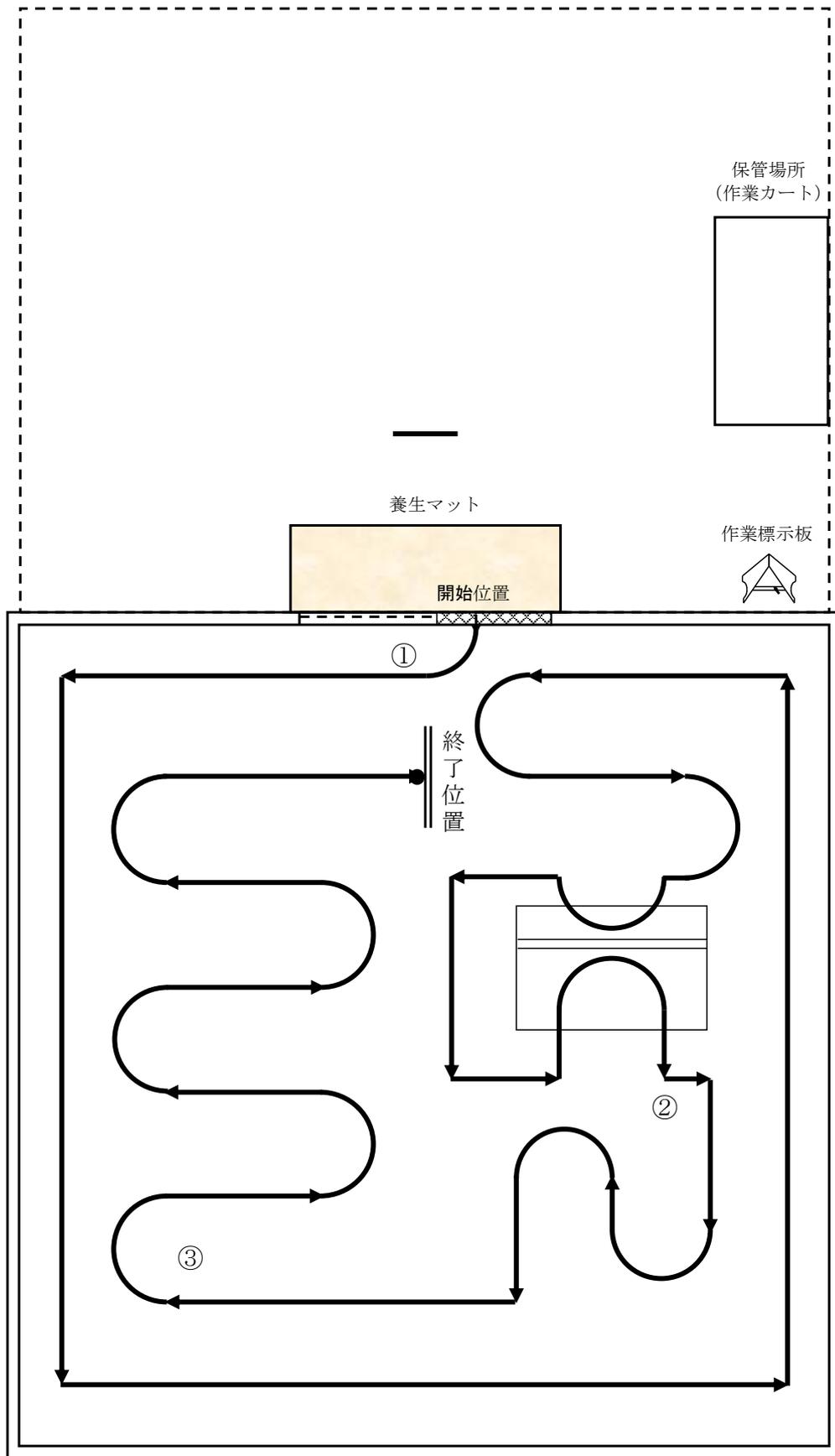
作業仕様（2）

作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭き作業 (モップ)	①コート全体を拭く。 ②室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行う。 ③コーナー周りとし、机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・ 柄の先端には親指を添える。 ・ 房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・ 拭いたところを踏まないようにする。 	
ゴミ箱とイス下ろし	安全に音を立てないように下ろす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足の上に落とさないように注意する。 	
机上拭き	①青色のタオルを八折にして持つ。 ②机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルでから拭きを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。 ・ 机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。 ・ 横拭き、縦拭きを行う。 	
点検	指差し又は目視点検を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。 	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼して退室する。	
資機材の片付け	作業標示板をカートに収納し、カートを保管場所に戻す。		
終了の挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

標準配置図(モデル)

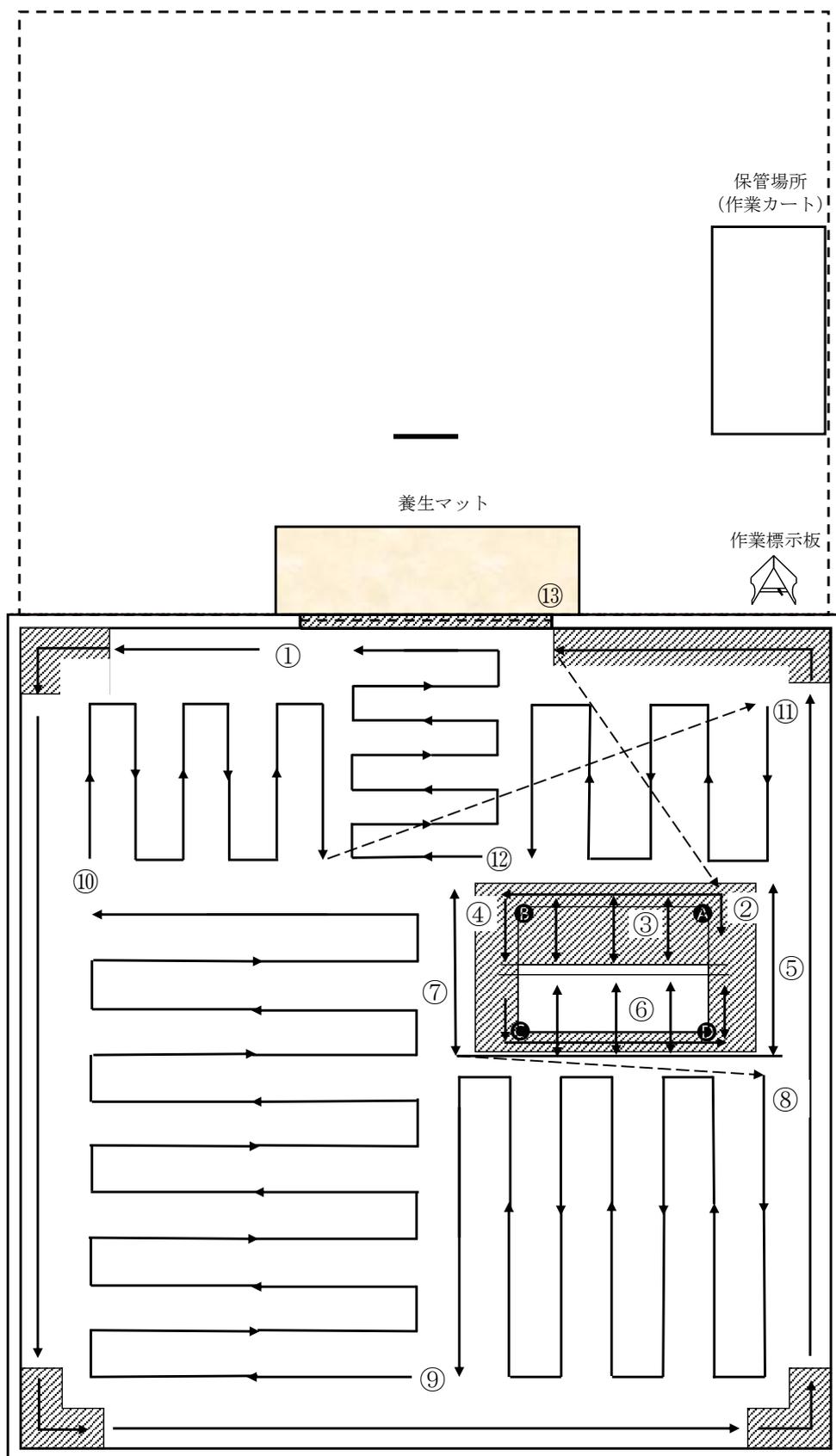


乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

水拭きモップ作業手順

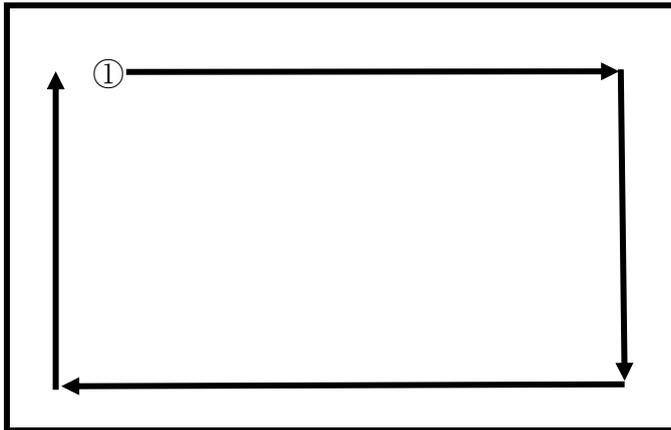


注：  印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 幅木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの脚回りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B脚、C脚、D脚の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬ 入口は手を添えて拭く

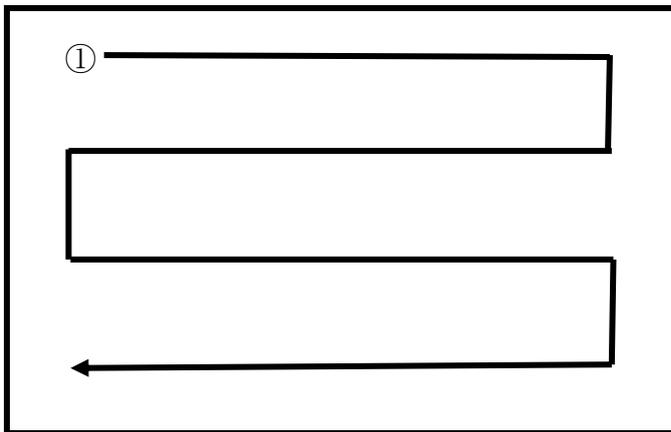
机上拭き作業手順

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆とした方法でも構いません。



縁(机の4辺)の拭き方

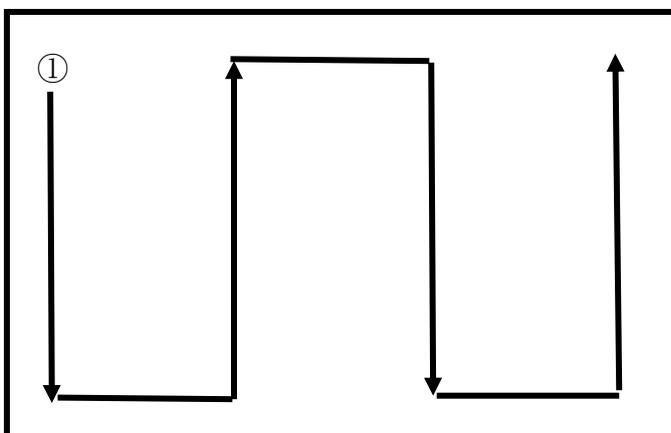
- ①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



中央の拭き方

- ②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。
また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)

※適宜タオルの面を変えながら拭く。



- ③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

- ④から拭きも同じように行います。

※適宜タオルの面を変えながら拭く。